

# 令和3年度地域防災力充実強化会議（6学区）

## 連携団体

消防団、防災士、支所職員、自主防犯委員会、子供安全リーダー協議会、民生委員・児童委員会協議会、社会福祉協議会、学校

## 検討事項

- ・防災訓練の参加者を増やし、住民が防災意識を高めていけるようにすることが必要。
- ・退団された消防団員に自主防災組織に入ってもらうため、相互に連絡を取り合える関係作りを構築する。
- ・震災対応訓練は実施しているが、土砂災害対応訓練が実施できていない。
- ・小学校に防災学習をしており、10年後に防災に携わる人材として育成している。
- ・運動会の種目に防災に関する競技（〇×クイズ、バケツリレー等）を入れてはどうか？
- ・若者が自主防災組織に参画できていない。退任を早くして次の人・新しい世代へ引き継ぐことを目的として、任期と定年制を定めてはどうか？
- ・学区内のハザードを実際に現地踏査して確認する。
- ・防災士や消防団地域防災指導員の方に指導的立場として地域の訓練に参加してもらう仕組み作りを構築する。
- ・岡山県総社市のある地域自主防災会は、住民から毎年避難訓練を実施する必要があるのかと問われた際、強い意志を持って毎年実施するように取り組んだ結果、西日本豪雨の時には住民800人の全戸避難と負傷者0人が達成できた。防災訓練の住民参加数を増やしていくことが重要である。
- ・連携強化会議を進めるにあたり、参加人数が多すぎると活発な議論が難しいため、今後はテーマごとにメンバーを絞り会議を開催していく。
- ・学区の防災マップを基に危険個所の写真を撮る活動をしている。
- ・避難所運営が本当にできるか市役所職員を巻き込んで考える必要がある。
- ・若者に防災に関する意識調査をしていこうと考えている。
- ・地域住民が防災士の活動や役割を理解していない。「防災かわら版」等の回覧で住民の方に防災士をアピールすると共に、防災士に地域の訓練に参加してもらう仕組みを構築する。
- ・地域の新聞に消防団員の顔写真を掲載し顔の見える関係につなげるのもよいのではないか。
- ・学区の防災訓練参加者にゴミ袋をあげますといった特典があれば参加者が増えるのではないか。

## 設定目標

- ・地域のハザードに対する対処方法や備えを可能とするため、地域自主防災組織の自立を図る。